

1. 園の教育目標

幼児の心身の調和な発達をはかり、健全で正しい社会的な態度の育成、豊かな情操を養い道徳性の芽生えの適切な指導を行う。

- ◎思いやりを育てる。
- ◎健康な身体を作る。
- ◎義務教育の基礎となる体力、学力を習得する。
- ◎豊かな情操を養う。

2. 本年度、重点的に取り込む目標・計画

- ①特別な配慮を要する園児の増加につき、個別な指導計画の作成、関係機関また、保護者との連携を密にする。
- ②安全危機管理の見直しをはかり、危険に対して即座に対応できるように全職員の意識を向上させる。
- ③教職員と保護者の信頼関係を深め、協力しあって教育、保育ができる体制を作る。
- ④園だよりやホームページで本園の情報を公開し細かく発信する
- ⑤キンダーカウンセリング事業を 保護者や地域の子育てに係る人にひろめて 子育てに悩みのある方の相談窓口となる。
- ⑥地域の子育て支援施設として 未就園児におひさま広場（園庭解放）を活用していただく。

3. 評価項目及び達成、取り組み状況

- ①保育の計画性・・・指導計画は、毎年子供も実態に即した保育指導ができるように計画案を立てる。
- ②保育の在り方、幼児への対応・・・教師は日々の子供の様子をしっかりと観察し、その時その時に応じた指導ができるように臨機応変に対応する。
- ③教師としての資質、能力、良識、適正・・・幼児の発達の姿をとらえるための常に 教職員全員で幼児の様子を話し合い、お互いをサポートしてひとりで解決することなく 全職員の力をあわせて向上させている。
- ④保護者の対応・・・保護者との懇談会を定期的実施、保護者からの意見に

耳を傾け、改善すべき点があれば、改善するよう努力する。

ホームページのアルバムに行事ごとに園児の様子をのせ 保護者限定に見ていただいている。

- ⑤地域社会との関わり・・・竹湊地区施設連絡会に参加し、地域での様々な問題点を共有して考慮する。
- ⑥研修・研究・・・積極的に研修会に参加し、教員の資質向上を図ることが出来た。八尾市幼保小合同研修会にて小学校と連携を密にした。
- ⑦キンダーカウンセリング事業・・・保護者だけでなく、地域の子育てに係る方の利用があり カウンセリング便も配布した。

4.今後取り組むべき課題

- ◎子育て支援の充実した取り組み
- ◎新型コロナウイルス感染症拡大防止に努める
- ◎情報公開としてホームページの積極的な活用
- ◎保育教諭の資質向上
- ◎小学校との連携
- ◎英語教育を取り入れる

5. 財務状況

公認会計士による監査の結果、適正に処理されていると報告を受けている。

6. 学校評価

昨年度からのコロナウイルス感染症予防の為 様々な行事が中止や制限されたうえでの実施となったが子供たちに幼稚園での楽しい思い出を作ってもらえるように 教職員が力を合わせて取り組んだ。

緊急事態宣言発出中にユーチューブでの子供への呼びかけや保育参観が出来なかった代わりに保護者への画像配信なども行い 保護者にも喜んで頂けた。今年度よりタブレットによる英語教育に加えて、ECC の専属教師に指導してもらえるようになった。

保育面では 今後一層、一人一人に目を向けて行き届いた保育ができるように努力したい。